奥尻町個別施設計画

令和3年3月策定

令和8年3月改訂

奥尻町

奥尻町個別施設計画

目次

Ⅰ　個別施設計画の概要

1．個別施設計画策定の背景と目的---------- 1
2．個別施設計画策定の範囲と計画期間 ---------- 3

Ⅱ　公共施設を取り巻く環境

1．将来の人口予測～奥尻町人口ビジョンより---------- 4
2．本町の財政状況---------- 6
3．公共施設の現状---------- 8

Ⅲ　基本方針

1．本町が目指すまちづくり ----------13
2．「奥尻町公共施設等総合管理計画」に掲げる基本方針----------14

Ⅳ　個別施設計画の概要

1．対象施設の一覧----------18
2．本計画の組み立て ----------23
3．庁舎・町職員住宅等の方針----------24
4．子育て・福祉支援施設の方針 ----------28
5．産業関連施設の方針 ----------29
6．コミュニティ・社会教育施設の方針 ----------36
7．自治振興会館・集会所の方針 ----------38
8．その他の施設の方針----------40

Ⅴ　まとめ

1．10 年後の実現を目指す奥尻町の姿 ----------42
2．施設分類ごとの方針----------43
3．個別施設計画による財政効果 ----------45
4．本計画の推進体制 ----------47

本文中、各表の金額は表示単位未満を四捨五入しており、端数処理の関係上合計が一致しない場合があります。

Ⅰ　個別施設計画の概要

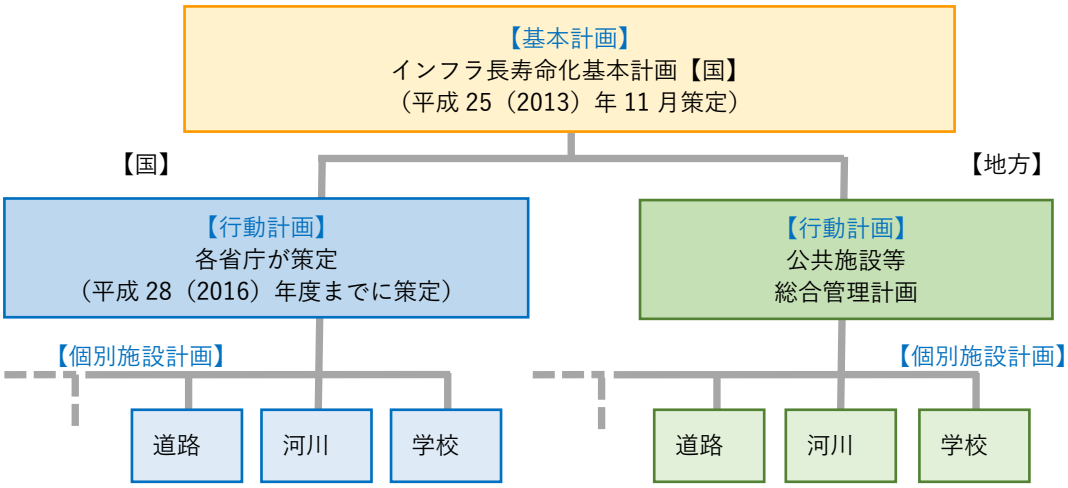
１．個別施設計画策定の背景と目的

（１）個別施設計画策定の背景

全国的に高度経済成長期に整備した公共施設の多くで老朽化が進行し、近い将来、一斉に更新時期を迎えようとしています。

国においては、平成 25（2013）年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）を定め、インフラを管理・所管する者に対し、当該施設の維持管理費や更新を着実に推進するための行動計画や施設ごとの個別施設計画の策定を要請しています。

■参考：総務省「インフラ長寿命化計画の体系」



本町においても、人口急増期にあたる 1970 年代から 1990 年代にかけて多くの公共施設を整備してきましたが、建築後 30 年から 50 年余りが経過し、老朽化が進行している状況です。

これら施設の老朽化に伴い事故等の発生確率が増すことにより、住民が安心、安全に公共施設サービスを受けることに支障をきたすことを懸念しています。

今後、これらの施設が、大規模な修繕や建替えなどの更新時期を次々に迎えていくことになりますが、生産年齢人口の減少による税収の減少や、高齢者の増加による社会保障経費の増加などにより厳しい財政見通しであることから、保有する全ての公共施設の数と規模をそのまま維持管理し、かつ、更新していくことは困難となっています。

（２）個別施設計画策定の目的

平成 29（2017）年 3 月に、本町における公共施設等の適正配置や効果的・効率的な運営の方向性を示すべく、公共施設等の全体像を明らかにし、長期的な視点を持って、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的として「奥尻町公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。)」を平成 29（2017）年 3 月に策定し、「公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針」の改定に伴い、令和 8（2026）年 3 月に総合管理計画を改訂しています。これを踏まえ、同計画に基づく施設ごとの取組方針等を示す計画（以下、「個別施設計画」という。）を策定するものです。

■主な検討項目

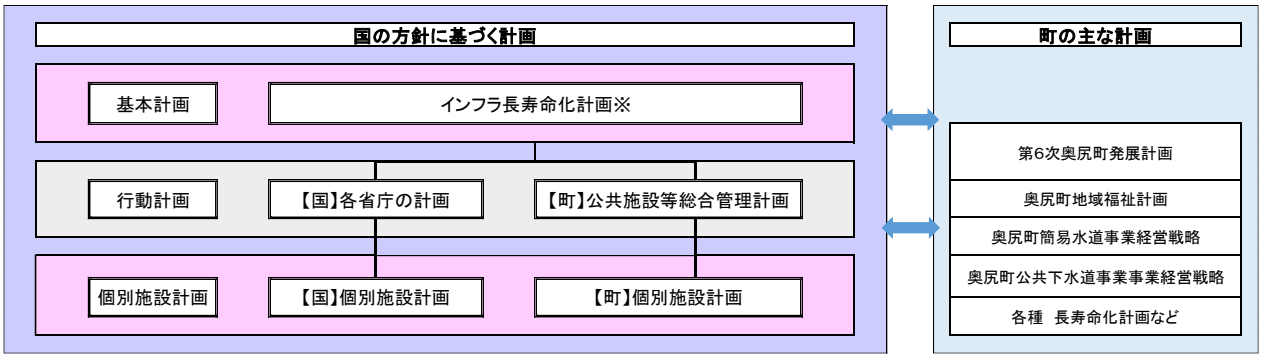
- ●財政制約下での適正な資産更新（更新や統合・廃止等）
- ●人口減少に伴う適正施設数の調整
- ●既存施設の長寿命化工事による法定耐用年数の延長

（３）個別施設計画とその他の計画との位置づけ

本町のまちづくりの最上位に位置付けられる「第 6 次奥尻町総合計画」をはじめとする各種計画があり、本計画においてもこれらの計画との調和を図る必要があります。

各種計画の全体像は、以下のとおりです。

■計画の全体像



２．個別施設計画策定の範囲と計画期間

（１）本計画における個別施設計画作成の範囲

本町ではこれまでに、本計画とは別に以下の個別施設計画（長寿命化計画）を策定しています。本計画はこれらと別に作成するものです。これまでに作成した個別施設計画は以下のとおりとなります。

これらの個別施設計画（長寿命化計画）と本計画は相互に連携をとり、計画推進を図ります。

■すでに作成された個別施設計画（長寿命化計画）等

- ●奥尻町学校施設個別施設計画
- ●奥尻町公営住宅等長寿命化計画
- ●奥尻町医療施設個別施設計画
- ●奥尻町総合葬斎場長寿命化計画
- ●奥尻町橋梁長寿命化修繕計画
- ●奥尻町簡易水道事業経営戦略
- ●奥尻町公共下水道事業経営戦略
- ●奥尻町漁業集落排水事業経営戦略　など

また、上記以外のインフラ系施設については、別途国からの作成要請があるため、除外するものとします。上記を踏まえ、本計画は以下の分類に対して、計画の作成範囲とします。

■当該計画の該当範囲

施設分類	主な施設
庁舎・町職員住宅等	奥尻町総合庁舎、役場庁舎分室（奥尻町社会福祉協議会）、町職員住宅
子育て・福祉支援施設	保健福祉センター、奥尻町健康づくりセンター「いろは」
産業関連施設	し尿処理センター、一般廃棄物最終処分場、神威脇温泉保養所、奥尻港旅客上屋（旅客ターミナル）　など
コミュニティ・社会教育施設	奥尻町海洋研修センター、奥尻町稲穂ふれあい研修センター、奥尻町総合研修センター　など
自治振興会館・集会所	自治振興会館、稲穂夕なぎ会館、薬師集会所
その他の施設	青苗中学校、旧老人福祉寮、旧奥尻町公衆浴場、移住者用住宅　など

（２）計画期間

計画期間は、令和 8（2026）年度から令和 17 年度（2035）年度までの 10 年間とします。今後の上位・関連計画や社会経済情勢の変化などに応じて、見直しを行っていきます。

計画期間「10 年間」

令和 8（2026）年度～令和 17 年度（2035）年度

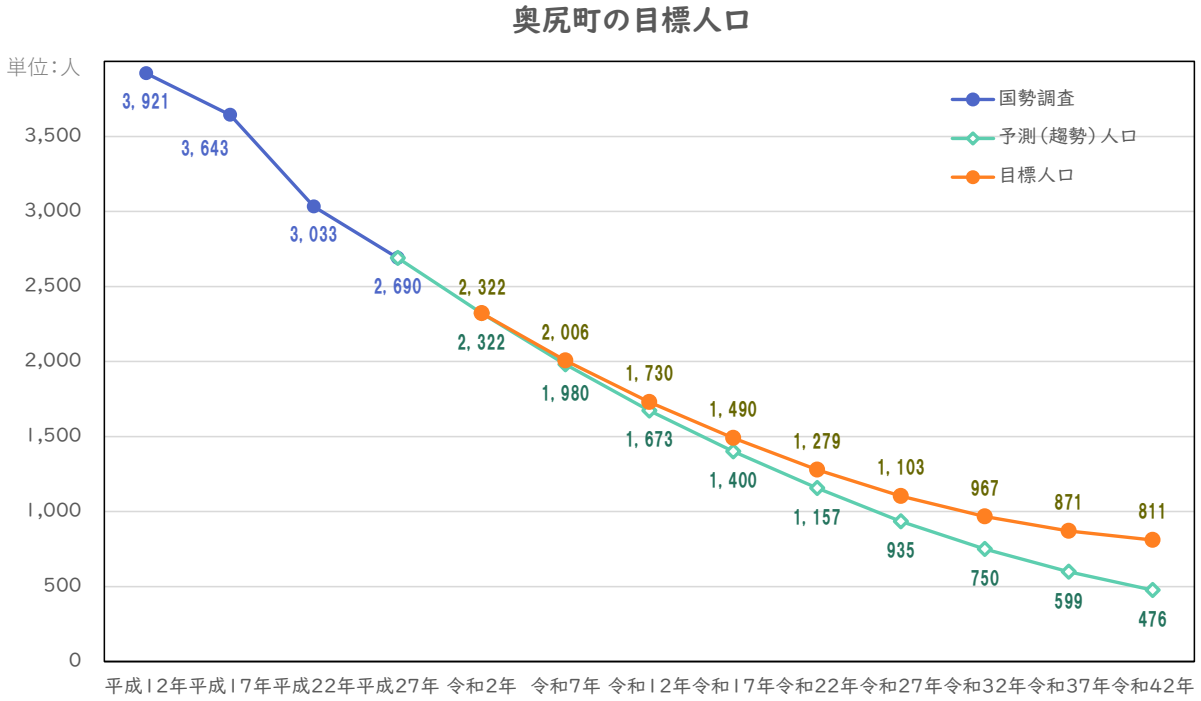
Ⅱ　公共施設を取り巻く環境

1．将来の人口予測～奥尻町人口ビジョンより

目標人口においては、高齢化率が令和 27（2045）年にはピークを迎え、その後は下降に転じることになります。また、0～14 歳人口（年少人口）の比率が令和 22（2040）年以降は上昇に転じるとともに、15～64 歳（生産年齢人口）の比率も令和 32（2050）年以降は上昇に転じることになります。

このように、概ね令和 27（2045）年以降、奥尻町は少子高齢化に完全に歯止めがかかることを含め、予測（趨勢）人口に比べて、人口構造が大幅に改善していくことが期待されます。

最後に、新たな目標人口の実現の要である奥尻町の社会動態について、仮定値に基づく累積定住率（令和 22（2040）年）として確認すると、下図のとおりとなることが見込まれます。



※予測(趨勢)人口は、社人研推計（平成30年）準拠をベースに、令和2年の国勢調査人口について現時点で想定される2,322人への補正を行ったものです。併せて、社人研推計（平成30年）準拠では出生推計に関して合計特殊出生率が用いられていないため、これを用いる手法へと変更しています。こうした補正・変更後の予測(趨勢)人口については、社人研推計（平成30年）準拠による将来人口に極めて近い予測となっています。

（単位：人）

目標人口	国調人口		推計人口								
	平成22年	平成27年	令和２年	令和７年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年	令和32年	令和37年	令和42年
総人口	3,033	2,690	2,322	2,006	1,730	1,490	1,279	1,103	967	871	811
0～4歳	81	86	59	45	35	28	22	19	16	15	14
5～9歳	121	72	70	49	40	34	29	25	25	25	27
10～14歳	115	95	59	59	44	38	35	34	33	38	45
15～19歳	89	67	57	36	35	27	23	21	21	20	22
20～24歳	93	85	58	50	31	31	23	20	18	18	17
25～29歳	141	141	96	65	57	35	35	26	23	21	21
30～34歳	165	132	108	76	51	45	28	27	20	18	16
35～39歳	139	147	115	93	68	48	43	29	29	24	24
40～44歳	153	133	126	100	84	63	46	44	31	34	31
45～49歳	194	146	132	127	103	90	71	54	56	42	50
50～54歳	222	161	130	119	118	99	89	75	61	69	56
55～59歳	255	202	149	119	109	109	91	80	68	55	63
60～64歳	272	228	187	139	111	101	102	84	74	63	51
65～69歳	221	247	210	173	129	102	93	95	77	67	58
70～74歳	228	197	230	197	162	121	95	87	89	73	62
75～79歳	231	202	180	211	182	150	112	89	81	83	68
80～84歳	177	180	161	146	172	150	124	94	74	66	69
85～89歳	91	115	116	110	101	120	107	88	68	51	45
90歳以上	45	54	79	92	98	99	111	112	103	89	72
構成比											
0～14歳	10.5%	9.4%	8.1%	7.6%	6.9%	6.7%	6.7%	7.1%	7.7%	9.0%	10.6%
15～64歳	56.8%	53.6%	49.9%	46.1%	44.3%	43.5%	43.1%	41.7%	41.5%	41.8%	43.3%
65～74歳	14.8%	16.5%	18.9%	18.4%	16.8%	15.0%	14.7%	16.5%	17.2%	16.1%	14.8%
75歳以上	17.9%	20.5%	23.1%	27.9%	32.0%	34.8%	35.5%	34.7%	33.7%	33.2%	31.3%
高齢化率	32.7%	37.0%	42.0%	46.3%	48.8%	49.8%	50.2%	51.2%	50.9%	49.3%	46.1%

※国調人口について、年齢不詳人口がある場合はこれを社人研按分値を踏まえて按分しています。

2.本町の財政状況

（1）平成 27（2015）年度から令和 6（2024）年度までの歳入歳出実績

過去 10 年間の歳入・歳出の傾向は以下のとおりです。

① 歳入は 24.8%増加
地方税は 8.3%減少、地方交付税は 9.9%増加

② 歳出は 25.0%増加
人件費は 42.2%増加、物件費 53.6%増加、維持補修費 52.5%増加、繰出金は 50.9%減少、投資的経費は 305.3%増加

■歳入歳出決算書　（単位：百万円）

			2015 年度	2024 年度	増減	2015 年度対比
歳入	一般財源	地方税	289	265	▲24	91.7%
		地方交付税	2,205	2,423	218	109.9%
		その他	100	123	23	123.0%
		合計	2,594	2,811	217	108.4%
	国庫支出金		105	280	175	266.7%
	都道府県支出金		236	250	14	105.9%
	使用料・手数料		149	187	38	125.5%
	分担金・負担金		0	0	0	-
	繰入金		2	328	326	16,400.0%
	地方債		405	415	10	102.5%
	その他		331	499	168	150.8%
	歳入合計		3,822	4,770	584	124.8%
歳出	義務的経費	人件費	746	1,061	315	142.2%
		扶助費	87	117	30	134.5%
		公債元金償還	697	595	▲102	85.4%
		公債利息	1	1	0	100.0%
		合計	1,531	1,774	243	115.9%
	物件費		742	1,140	398	153.6%
	維持補修費		40	61	21	152.5%
	補助費等		820	889	68	108.4%
	繰出金		291	143	▲148	49.1%
	積立金		168	167	▲1	99.4%
	投資的経費		152	464	312	305.3%
	その他		6	50	44	833.3%
	歳出合計		3,751	4,688	937	125.0%

（２）地方税、地方交付税の推移

次に、地方税、地方交付税等をみてみます。

過去 10 年間、人口減少等により地方税は減少し、税収減の補填や高齢化による社会保障ニーズの増大等により地方交付税は増加しています。

■地方税、地方交付税等の推移　（単位：百万円）

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
地方税	289	285	281	282	273	274	273	273	275	265
地方交付税	2,205	2,255	2,217	2,173	2,169	2,232	2,421	2,433	2,451	2,423
その他	100	90	96	95	96	101	113	110	110	123
合計	2,594	2,630	2,594	2,550	2,538	2,607	2,807	2,816	2,836	2,811

（３）地方債残高の推移

地方債残高は増加傾向にあります。

住民一人当たりの地方債残高を見ても、平成 27（2015）年の 1,482 千円が、令和 6（2024）年度では 3,158 千円と、2 倍以上に増加しています。

■地方債残高の推移

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
人口（人）	2,861	2,795	2,742	2,655	2,586	2,498	2,425	2,346	2,269	2,138
地方債（百万円）	4,240	5,398	5,138	5,334	5,090	4,955	4,790	4,920	6,710	6,571
増減（百万円）	-	1,158	▲260	196	▲244	▲135	▲165	130	1,790	▲139
一人当たり残高（千円）	1,482	1,931	1,874	2,009	1,968	1,984	1,975	2,097	2,957	3,158

3．公共施設の現状

（1）令和 7（2025）年度末における個別施設計画対象施設の概要

■対象施設の概要

施設分類	施設数	総面積（㎡）
庁舎・町職員住宅等	30	5,546.00
子育て・福祉支援施設	2	623.60
産業関連施設	60	29,982.35
コミュニティ・社会教育施設	10	8,315.53
自治振興会館・集会所	8	1,733.02
その他	17	6,625.36
合計	126	52,825.86

これまでに、本町では人口増加や行政需要に対応して、学校、庁舎、町営住宅などの公共施設や道路、橋梁、上下水道などのインフラ系施設を建設し、町民の生活基盤、地域コミュニティの拠点などとして大きな役割を果たしてきました。

■年代別建築棟数の状況　（単位：施設数）

施設分類	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代	2020年代	合計
庁舎・町職員住宅等	3	16	3	4	0	0	6	32
子育て・福祉支援施設	0	3	0	0	1	0	0	4
産業関連施設	0	10	15	15	7	6	5	58
コミュニティ・社会教育施設	1	3	1	4	0	1	0	10
自治振興会館・集会所	0	1	2	4	1	0	0	8
その他	0	3	7	1	0	0	1	12
合計	4	36	28	28	9	7	12	124

※バス待合室（武士川）、バス待合室（中学校・高校前）の取得年度が不明なため対象 126 施設のうち、不明分を除く 124 施設を集計。

現在、本町の個別施設計画における対象公共施設 126 施設ありますが、年代別の建設棟数をみると 1970 年代から 1990 年代までの建設が多く、1970 年代が最も多い 36 施設、次いで 1980 年代及び 1990 年代がそれぞれ 28 施設となっています。

（２）施設別の年間維持管理コストと利用人数

利用人数が把握できる施設について、令和６（2024）年度における年間の維持管理コストと利用人数は以下のとおりです。

■施設別年間維持管理コストと利用者数

No.	施設名称	R6 維持管理コスト（円）	R6 利用者数（人）
1	奥尻町総合庁舎	11,375,806	1 日に 30 人程度
2	役場分庁舎（奥尻町社会福祉協議会）	-	-
3	役場分庁舎倉庫	-	-
4	町長公宅	-	-
5	助役公宅	-	-
6	町職員住宅（6-1）	-	-
7	町職員住宅（6-2）	-	-
8	町職員住宅（8-1）	-	-
9	町職員住宅（9-1・11-1）	-	-
10	町職員住宅（9-1・11-3）	-	-
11	町職員住宅（9-2・9-3）	-	-
12	町職員住宅（11-1）	-	-
13	町職員住宅（11-2）	88,440	-
14	町職員住宅（13-1）	-	-
15	町職員住宅（H3､3-1・3-2）	-	-
16	町職員住宅（H4､4-1・4-2）	-	-
17	町職員住宅（赤石）	-	-
18	町職員住宅（番号 14-1）	-	-
19	町職員住宅（番号 17-1）	-	-
20	町職員住宅（番号 45-2・45-3）	-	-
21	町職員住宅（番号 46-1・46-2）	-	-
22	町職員住宅（番号 50-1-1、50-1-2）	-	-
23	職員住宅（旧教員住宅）（棟番号 497-2）	-	-
24	職員住宅（旧奥尻中学校教員住宅）（棟番号 29-1・Ｓ52）	388,222	-
25	職員住宅（旧奥尻中学校教員住宅）（棟番号 29-2・S53）	388,221	-
26	職員住宅（旧奥尻中学校教員住宅）（棟番号 29-3・S53）	623,181	-
27	職員住宅（旧青苗中学校教員住宅）（棟番号 10-1、10-2・S55）	215,100	-
28	職員住宅（棟番号 12-1）	1,488,317	-

No.	施設名称	R6 維持管理コスト(円)	R6 利用者数（人）
29	職員住宅（棟番号 274-51）	-	-
30	青苗 411-17　住宅	-	-
31	奥尻 488-1　住宅	-	-
32	旧郵政公宅（棟番号郵政 101、郵政 201）	73,700	-
33	保健福祉センター	2,972,160	200
34	奥尻町健康づくりセンター「いろは」	360,613	891
35	宮津生活館	-	-
36	谷地生活館	-	-
37	富里へき地保健福祉館	-	-
38	奥尻町し尿処理センター投入棟	-	0
39	し尿処理センター管理棟	-	-
40	奥尻町一般廃棄物最終処分場	300,000	0
41	一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設	1,200,000	-
42	新奥尻町一般廃棄物最終処分場	1,000,000	850
43	新一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設	3,800,000	-
44	奥尻町球浦行革燃焼炉 1 号炉	-	0
45	奥尻町球浦行革燃焼炉 2 号炉	-	0
46	奥尻町じん芥処理場	400,000	-
47	奥尻町環境センター　焼却施設	100,000,000	4,000
48	奥尻町共同種苗施設作業場	-	10
49	青苗魚菜市場	-	15
50	野菜等集出荷貯蔵庫	-	15
51	家畜避難舎	-	4
52	奥尻町畜養施設	-	6
53	牧場用機械格納庫	269,000	11
54	奥尻町種雄牛集管理施設	-	4
55	奥尻町種雄牛集管理施設住宅	-	4
56	奥尻町集落センター	-	15
57	ファミリーパーク管理棟	300,000	2
58	神威脇生活改善センター	40,000	7
59	奥尻町あわび種苗育成センター	6,464,480	-
60	奥尻養殖漁業支援センター	-	20
61	奥尻地区水産物流通荷さばき施設	-	1,500
62	奥尻地区漁獲物鮮度保持施設	-	1,000

No.	施設名称	R6 維持管理コスト(円)	R6 利用者数（人）
63	奥尻町製氷貯氷・冷凍冷蔵施設	-	200
64	神威脇温泉保養所	5,700,157	13,053
65	奥尻港旅客上屋（旅客ターミナル）	4,322,255	19,000
66	灯油備蓄施設	8,516,344	3
67	奥尻町営自動車整備工場１	-	-
68	奥尻町営自動車整備工場２	-	-
69	板金塗装作業場	-	-
70	過疎バス車庫	-	-
71	町有バス車庫	-	-
72	バスタイヤ収納庫	-	-
73	バス待合室（野名前）	-	-
74	バス待合室（稲穂ふれあい研修センター）	-	-
75	バス待合室（稲穂）	-	-
76	バス待合室（勘太浜）	-	-
77	バス待合室（宮津）	-	-
78	バス待合室（奥尻小）	-	-
79	バス待合室（東風泊）	-	-
80	バス待合室（球浦２）	-	-
81	バス待合室（球浦１）	-	-
82	バス待合室（十字街２）	-	-
83	バス待合室（病院前）	-	-
84	バス待合室（谷地第 1）	-	-
85	バス待合室（武士川）	-	-
86	バス待合室（恩顧浜第 1）	-	-
87	バス待合室（松江）	-	-
88	バス待合室（初松前）	-	-
89	バス待合室（富里）	-	-
90	バス待合室（青苗小）	-	-
91	バス待合室（青苗郵便局）	-	-
92	バス待合室（望洋台）	-	-
93	バス待合室（研修センター）	-	-
94	バス待合室（山の手）	-	-

No.	施設名称	R6 維持管理コスト(円)	R6 利用者数（人）
95	バス待合室（米岡新生団地）	-	-
96	バス待合室（神威脇）	-	-
97	新生ホール・青苗	-	-
98	パークゴルフ場クラブハウス	4,785,522	2,088
99	奥尻町海洋研修センター	25,525,000	5,030
100	奥尻島津波館	5,609,000	3,083
101	奥尻町町民センター	5,112,000	3,383
102	弓道場	-	-
103	奥尻町稲穂ふれあい研修センター	279,987	363
104	奥尻町稲穂ふれあい研修センター体育館	-	-
105	スキーロッヂ	3,096,000	1,441
106	奥尻町総合研修センター	500,000	886
107	赤石自治振興会館	71,047	-
108	球浦自治振興会館	103,211	-
109	勘太浜自治振興会館	52,334	-
110	東風泊自治振興会館	140,262	274
111	米岡自治振興会館	101,503	-
112	初松前自治振興会館	139,510	-
113	稲穂夕なぎ会館	81,244	50
114	薬師集会所	49,896	-
115	旧稲穂自治振興会館	-	-
116	旧歴史民族資料館	-	-
117	旧青苗歯科診療所	-	-
118	旧青苗中学校校舎（棟番号 021）	-	-
119	旧青苗中学校体育館（棟番号 025）	-	-
120	旧青苗中学校クラブハウス（棟番号 026）	-	-
121	旧青苗中学校物置（棟番号 022）	-	-
122	旧うにまるパークセンター	-	-
123	旧老人福祉寮	-	-
124	旧奥尻町公衆浴場	-	-
125	霊柩車車庫	-	-
126	移住者用住宅	261,261	1

Ⅲ 基本方針

1．本町が目指すまちづくり

第 6 期奥尻町発展計画において、本町におけるまちづくりの将来像は、「島を受け継ぎ、島をつくる　4 つのスタイルの息づく町」です。これからのまちづくりにおいては「しまのスタイル」、「ひとのスタイル」、「くらしのスタイル」、「まちのスタイル」の 4 つを、本町に関わる多くの主体が協力し合って守り、育てたい「4 つのスタイル」に位置づけ、この 4 つのスタイルが息づく町を、10 年後の本町の将来像として定めています。

本町が目指すまちづくりを進めていくため、必要な施設等については整備を実施するとともに、定期的に管理状況を評価するなどし、公共施設等の建設や大規模改修、長寿命化改修、統廃合を実施します。維持する公共施設等に対しては、定期的に劣化度・利用度・コスト等の評価を実施し、評価結果・社会情勢の変化等に応じて個別計画を見直します。

■第 6 期奥尻町発展計画に掲げる「4 つのスタイル」

「しまのスタイル」

自然と人との長い関わりの中で生まれた、奥尻島ならではの文化。奥尻町の自然的・人文的な資源を後世に守り伝え、活用することで、町の競争力を高めます。奥尻に関わるすべての人が、固有の「しまのスタイル」を誇りに思い、そのスタイルに価値づけし、町内外で共有できる町を目指します。

「ひとのスタイル」

奥尻町に住むひと、奥尻町に来るひと、奥尻町に関わるひと。様々なひとが関わり合い、支え合うことで、奥尻町の暮らしを支え、新しい価値を生み出す地域づくりを進めます。奥尻町に根付く気風＝「ひとのスタイル」を大切にしながら、これからの奥尻町をつくる創造力あふれる心豊かな町を目指します。

「くらしのスタイル」

都市部から遠く離れた奥尻町。ゆっくりと流れる島時間は、それだけで奥尻町の価値の一つです。これからの時代、都市部から離れていても、交通、インフラ、ネットワーク…暮らしの利便性は不可欠であることから、奥尻の島時間を大切にしながら新しい「くらしのスタイル」をつくります。新しい時代に対応した、一人ひとりが生きいきと暮らせる町を目指します。

「まちのスタイル」

人口減少時代、多様な主体と力を合わせながら、町のこれからを担っていくことが求められます。職員、町民、事業者…単独でできることに限りはあっても、それぞれが役割を認識し、「自分事」としてまちづくりに関わる。協働によって、新時代の「まちのスタイル」をともに築いていく町を目指します。

２.「奥尻町公共施設等総合管理計画」に掲げる基本方針

（１）点検･診断等の実施方針

公共施設等は、利用状況、自然環境等に応じ、劣化や損傷の進行は施設毎に異なります。各施設の特性を考慮した上で、定期的な点検・診断により施設の状態を正確に把握することが重要です。現在行っている法定点検の他、必要に応じ任意の調査、点検を効果的に実施することとします。

その結果に基づき、必要な対策を適切な時期に、着実かつ効率的・効果的に実施するとともに、これらの取り組みを通じて得られた施設の状態や対策履歴等の情報を記録し、次の点検・診断等に活用していきます。

（２）維持管理･修繕･更新等

本町では、公共施設の長寿命化とコスト抑制を図るため、従来の事後的な修繕から、損傷が軽微な段階で修繕を行う「予防保全型維持管理」へ転換します。施設の役割や老朽化状況を総合的に勘案し、計画的な維持管理を行うことで、施設の安全性確保と経済性の両立を推進します。

※予防保全型維持管理：

損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施することで、機能の保持・回復を図る管理手法をいう。

（参考）事後的管理･･･施設の機能や性能に関する明らかな不都合が生じてから修繕を行う管理手法をいう。【公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針より

（３）安全確保

公共施設等の適切な機能維持と利用者の安全確保を最優先とし、定期点検や巡回による状況把握を徹底します。修繕にあたっては、施設の役割や災害時の重要度に応じた優先順位を定め、特に安全に直結する不具合には迅速に対処します。

また、利用需要の低い施設等は、将来予測に基づき解体・撤去を含めた検討を行い、適正な管理体制を構築します。

（４）耐震化

公共施設については、災害時の拠点施設や、避難所等としての役割を持つものも多いことから、用途、規模、利用状況などを勘案し、必要に応じ耐震化を検討します。

実施にあたっては、長寿命化改修と一体的に行うことでコスト縮減と効率化を図ります。

また、インフラ施設については、各個別計画に基づき、安全・安心なサービスを維持するため継続して耐震化を推進します。

（５）長寿命化

点検・診断等の実施方針のとおり早期に健全度を把握し、予防的な修繕等の実施を徹底し、今後も継続的な運用（利用）をする必要がある施設については、計画的な施設の長寿命化を推進します。

地方公会計による財務書類作成の基礎となる固定資産台帳活用し、建替えや大規模改修の時期を明確にすることで財政負担の平準化を図ります。

（６）統合や廃止等

施設設置の経緯や地域性などを踏まえ、将来的な必要性を見極めたうえで適正な配置・規模となるように見直しを行います。

利用頻度の低い施設や社会情勢や行政サービス需要の変化による用途廃止や統廃合、集約化による移転等で発生した空き施設は、他用途への転用、地域や民間事業者等への貸与、貸付、売却も含め、機能やあり方の検討を行います。

また、複合化・多機能化を図ることができる施設、設備等の共有が可能な施設などについては、積極的な機能統合を推進します。

（７）ユニバーサルデザイン化の推進方針

公共施設の改修・更新等にあたっては、障がいの有無、年齢、性別等に関わらず誰もが使いやすい施設となるよう、国の「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」（平成 29（2017）年 2 月 20 日ユニバーサルデザイン 2020 関係閣僚会議決定）の考え方を基本にユニバーサルデザインの導入を推進します。

また、個々の施設の利用者ニーズや利用状況から、ユニバーサルデザインの導入が効果的と見込まれる施設については、単独による改修の検討を行い、適宜ユニバーサルデザインへの対応に努めます。

（８）地球温暖化対策（脱炭素化対策）

地球温暖化対策は令和 32（2050）年までにカーボンニュートラルの実現を法律的に明記することで、政策の継続性・予見性を高め、脱炭素に向けた取組・投資やイノベーションを加速させるとともに、地域の再生可能エネルギーを活用した脱炭素化の推進や企業の脱炭素化の促進を図る「地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案」が令和 3（2021）年 3 月 2 日に閣議決定されました。

本町では、令和 4（2022）年 12 月の定例議会において、令和 32（2050）年までに二酸化炭素排出量実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指す旨を表明しています。

（9）地方公会計（固定資産台帳等）の活用

平成 27（2015）年 1 月 23 日付総務大臣通知により、統一的な基準による財務書類等を作成することが要請されています。作成に当たっては、固定資産台帳を補助簿として活用することが求められていることから、固定資産に関する様々な情報を公共施設等の管理運営に役立て、地方公会計制度と一体で推進していきます。

（10）各種計画との連携

施設の複合化や統合等を進める際は、総合計画などまちづくり関連の計画と連携を図っていきます。また、利用者の利便性向上や維持管理運営費の縮減に向けて、国管理施設や道管理施設等との連携の可能性についても検討していきます。

（11）広域連携

公共施設の総合的な管理は、町単独の取り組みだけではなく、近隣の関連する自治体間との連携した取組の検討が必要となります。近隣自治体等との広域連携による公共施設の相互利用などを推進し、財政負担の軽減と行政サービスの維持・向上を図ります。

（12）保有する財産（未利用資産等）の活用

未利用施設については貸付・売却・除却を検討します。

廃止や統廃合が進めば、その後の利活用がされない土地・建物が増加することも考えられます。このため未利用資産等については、売却処分や貸付等を積極的に進めるとともに、庁内照会を行い、他の行政目的での利用を優先して検討します。他の行政目的での利用がない場合は、地域住民と合意形成を図り、民間への売却や貸付等の利活用を進めていきます。

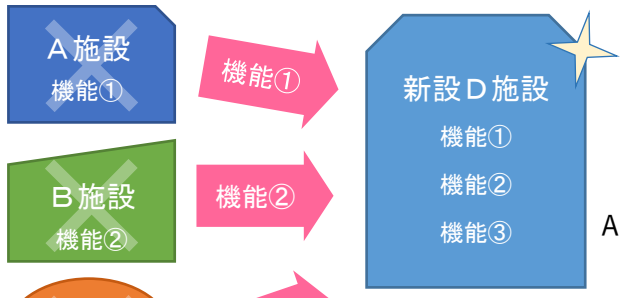
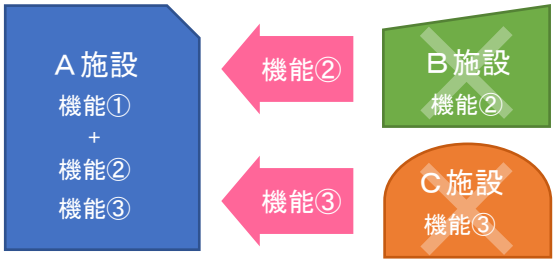
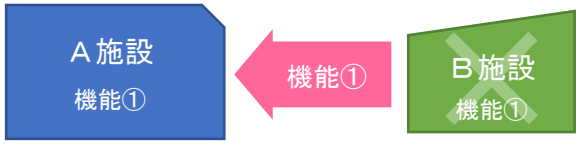
（13）総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築

全庁的な視点に立って各施設所管課の連携体制の強化を図り、公共施設等に関する取組を確実に進行させます。また、固定資産台帳と連携し、公共施設等に関する情報整備を進め、一貫した資産データに基づくマネジメントを進めていきます。

職員一人ひとりが、経営的感覚を持って、全体の最適化を意識した公共施設マネジメントの視点を持つため、研修会などを実施していきます。

また、行政と町民、NPO 法人、企業など、様々な主体が連携して、公共施設等を含めた地域の資源を最大限活用しながら、地域の持続的な発展を目指します。

■更新・長寿命化・統廃合等のイメージ

取組方法	取組のイメージ
①更新 老朽化が進んだ施設を建て替えること。原則として、床面積は縮小する。	 床面積 A＞新A
②長寿命化 耐用年数を超えて使用できるよう大規模改修すること。	
③複合化・多機能化 一つの施設の異なる複数の機能を保有させることにより、運用や維持管理の効率化を図ること。 複数の機能を保有した施設を新設する方法と既存の施設に機能を移管する方法がある。 施設を新設する場合は、複合化する施設の床面積の合計より縮小することを原則としている。	 床面積 A＋B＋C＞D 【複合化】 ※A施設、B施設、C施設は他に用途がない場合は廃止  【多機能化】 ※B施設、C施設は他に用途がない場合は廃止
④統廃合 余剰施設を同じ機能の施設に統合することにより、保有量を最適化すること。	 ※余剰B施設は他に用途がない場合は廃止
⑤用途変更 機能を廃止し、新たな機能を保有させること。	
⑥譲渡 地域や民間に現状有姿で譲渡すること。	

Ⅳ 個別施設計画の概要

1．対象施設の一覧

本計画の対象とする公共施設は以下のとおり 126 施設となります。なお、延床面積は令和 8（2026）年 3 月末現在の数値です。

■対象施設一覧

施設分類	No.	施設名称	延床面積（㎡）
庁舎・町職員住宅等	1	奥尻町総合庁舎	2,721.23
	2	役場分庁舎（奥尻町社会福祉協議会）	188.29
	3	奥尻町社会福祉協議会倉庫	16.00
	4	町職員住宅（6-1）	92.22
	5	町職員住宅（6-2）	44.19
	6	町職員住宅（8-1）	60.45
	7	町職員住宅（9-1・11-1）	136.08
	8	町職員住宅（9-1・11-3）	53.07
	9	町職員住宅（9-2・9-3）	53.07
	10	町職員住宅（11-1）	68.13
	11	町職員住宅（11-2）	50.28
	12	町職員住宅（13-1）	89.88
	13	町職員住宅（H3､3-1・3-2）	138.24
	14	町職員住宅（H4､4-1・4-2）	138.24
	15	町職員住宅（赤石）	66.11
	16	町職員住宅（番号 14-1）	148.00
	17	町職員住宅（番号 17-1）	175.94
	18	町職員住宅（番号 45-2・45-3）	99.40
	19	町職員住宅（番号 46-1・46-2）	99.40
	20	町職員住宅（番号 50-1-1、50-1-2）	133.20
	21	職員住宅（旧教員住宅）（棟番号 497-2）	71.00
	22	職員住宅（旧奥尻中学校教員住宅）（棟番号 29-1・Ｓ52）	60.00

施設分類	No.	施設名称	延床面積（㎡）
庁舎・町職員住宅等	23	職員住宅（旧奥尻中学校教員住宅）（棟番号 29-2・S53）	61.00
	24	職員住宅（旧奥尻中学校教員住宅）（棟番号 29-3・S53）	71.00
	25	職員住宅（旧青苗中学校教員住宅）（棟番号 10-1、10-2・S55）	121.00
	26	職員住宅（棟番号 12-1）	71.21
	27	職員住宅（棟番号 274-51）	159.36
	28	青苗 411-17　住宅	79.24
	29	奥尻 488-1　住宅	122.91
	30	旧郵政公宅（棟番号郵政 101、郵政 201）	157.86
子育て・福祉支援施設	31	保健福祉センター	364.40
	32	奥尻町健康づくりセンター「いろは」	259.20
産業関連施設	33	奥尻町し尿処理センター投入棟	5,800.00
	34	し尿処理センター管理棟	77.00
	35	奥尻町一般廃棄物最終処分場	3,584.00
	36	一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設	265.00
	37	新奥尻町一般廃棄物最終処分場	3,128.00
	38	新一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設	230.00
	39	奥尻町球浦行革燃焼炉 1 号炉	64.00
	40	奥尻町球浦行革燃焼炉 2 号炉	64.00
	41	奥尻町じん芥処理場	1,373.00
	42	奥尻町環境センター　焼却施設	3,369.64
	43	奥尻町共同種苗施設作業場	61.56
	44	青苗魚菜市場	561.43
	45	野菜等集出荷貯蔵庫	251.30
	46	家畜避難舎	78.30
	47	奥尻町畜養施設	127.50
	48	牧場用機械格納庫	126.00
	49	奥尻町種雄牛集管理施設	247.00
	50	奥尻町種雄牛集管理施設住宅	60.00
	51	奥尻町集落センター	76.68
	52	ファミリーパーク管理棟	40.23
	53	神威脇生活改善センター	192.18

施設分類	No.	施設名称	延床面積（㎡）
産業関連施設	54	奥尻町あわび種苗育成センター	2,637.50
	55	奥尻養殖漁業支援センター	66.25
	56	奥尻地区水産物流通荷さばき施設	300.00
	57	奥尻地区漁獲物鮮度保持施設	706.00
	58	奥尻町製氷貯氷・冷凍冷蔵施設	1,527.65
	59	神威脇温泉保養所	687.75
	60	奥尻港旅客上屋（旅客ターミナル）	738.90
	61	灯油備蓄施設	2,000.00
	62	奥尻町営自動車整備工場１	661.23
	63	奥尻町営自動車整備工場２	79.38
	64	板金塗装作業場	41.00
	65	過疎バス車庫	382.35
	66	町有バス車庫	196.50
	67	バスタイヤ収納庫	23.40
	68	バス待合室（野名前）	6.30
	69	バス待合室（稲穂ふれあい研修センター）	6.30
	70	バス待合室（稲穂）	6.30
	71	バス待合室（勘太浜）	7.29
	72	バス待合室（宮津）	7.45
	73	バス待合室（奥尻小）	6.30
	74	バス待合室（東風泊）	7.29
	75	バス待合室（球浦２）	6.30
	76	バス待合室（球浦１）	6.30
	77	バス待合室（十字街２）	-
	78	バス待合室（病院前）	7.29
	79	バス待合室（谷地第 1）	6.75
	80	バス待合室（武士川）	12.10
	81	バス待合室（恩顧浜第 1）	7.20
	82	バス待合室（松江）	7.29
	83	バス待合室（初松前）	5.40
	84	バス待合室（富里）	7.29
	85	バス待合室（青苗小）	6.37

施設分類	No.	施設名称	延床面積（㎡）
産業関連施設	86	バス待合室（青苗郵便局）	8.64
	87	バス待合室（望洋台）	5.40
	88	バス待合室（研修センター）	-
	89	バス待合室（山の手）	5.40
	90	バス待合室（米岡新生団地）	13.26
	91	バス待合室（神威脇）	5.40
コミュニティ・社会教育施設	92	新生ホール・青苗	816.63
	93	パークゴルフ場クラブハウス	36.00
	94	奥尻町海洋研修センター	2,402.00
	95	奥尻島津波館	1,175.00
	96	奥尻町町民センター	1,852.08
	97	弓道場	161.00
	98	奥尻町稲穂ふれあい研修センター	585.00
	99	奥尻町稲穂ふれあい研修センター体育館	468.00
	100	スキーロッヂ	62.00
	101	奥尻町総合研修センター	757.82
自治振興会館・集会所	102	赤石自治振興会館	208.68
	103	球浦自治振興会館	235.59
	104	勘太浜自治振興会館	183.78
	105	東風泊自治振興会館	255.96
	106	米岡自治振興会館	189.13
	107	初松前自治振興会館	280.53
	108	稲穂夕なぎ会館	295.92
	109	薬師集会所	83.43
その他	110	旧稲穂自治振興会館	204.12
	111	旧歴史民族資料館	300.00
	112	旧青苗歯科診療所	177.05
	113	旧青苗中学校校舎（棟番号 021）	2,736.00
	114	旧青苗中学校体育館（棟番号 025）	900.00
	115	旧青苗中学校クラブハウス（棟番号 026）	120.00
	116	旧青苗中学校物置（棟番号 022）	62.00
	117	旧うにまるパークセンター	821.78
	118	旧老人福祉寮	199.00

施設分類	No.	施設名称	延床面積（㎡）
その他	119	旧奥尻町公衆浴場	221.53
	120	霊柩車車庫	12.90
	121	移住者用住宅	15.17
	122	宮津生活館	200.50
	123	谷地生活館	221.70
	124	富里へき地保健福祉館	165.61
	125	町長公宅	175.00
	126	助役公宅	93.00

※バス待合室（十字街２）、バス待合室（中学校・高校前）、（研修センター）の延床面積は不明のため記載なし。

２．本計画の組み立て

各公共施設の方針に記載している各項目の見方は以下のとおりとなります。

（１）施設別状況

・施設構造

・耐震（診断/補強）

新耐震基準に適合しているかを示した指標。

昭和 56（1981）年以前に建築した建物については診断実施の有無と耐震が不足する場合は補強の有無を示しています。

昭和 57（1982）年以後に建築した建物は新耐震基準に適合しているため診断及び補強は「不要」と記載しています。

・躯体性能・劣化度状況

A：特に措置を要しない

B：軽微な対応を要するまたは引き続き観察を続ける

C：精密調査を要する

D：補修改善を要する

（２）再取得･長寿命化コストの試算

既に事業計画等により詳細な算定根拠がある場合はその額を記載しておりますが、算出根拠が明らかでない施設については、以下の算定基準により算出しています。

施設分類	更新（建替え）単価	大規模改修（長寿命化）単価
庁舎・町職員住宅等	40 万/㎡	25 万/㎡
子育て・福祉支援施設	33 万/㎡	17 万/㎡
産業関連施設	40 万/㎡	25 万/㎡
コミュニティ・社会教育施設	40 万/㎡	25 万/㎡
自治振興会館・集会所	40 万/㎡	25 万/㎡
病院関連施設	40 万/㎡	25 万/㎡
その他	36 万/㎡	20 万/㎡

※「地方公共団体の財政的分析等に関する調査研究会報告書」(財団法人自治総合センター)の単価表を参考に設定。長寿命化は、大規模改修単価を採用。

（３）施設の具体的な方向性･対策

計画には、施設の方向性、施設管理等に関する考え方などを記載しています。

3．庁舎･町職員住宅等の方針

（1）施設別状況

No.	施　設　名	施設構造	耐震		劣化状況評価			
			診断	補強	躯体	屋根	外壁	内装
1	奥尻町総合庁舎	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造・一部木造	診断済	補強済	A	A	A	A
2	役場分庁舎（奥尻町社会福祉協議会）	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	不要	不要	A	A	A	A
3	役場分庁舎倉庫	軽量鉄骨造	不要	不要	A	A	A	A
4	町職員住宅（6-1）	木造	不要	不要	B	B	B	B
5	町職員住宅（6-2）	木造	未実施	未実施	A	A	A	A
6	町職員住宅（8-1）	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	A	A	A	A
7	町職員住宅（9-1・11-1）	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	B	B	B	B
8	町職員住宅（9-1・11-3）	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	未実施	未実施	A	A	A	A
9	町職員住宅（9-2・9-3）	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	未実施	未実施	A	A	A	A
10	町職員住宅（11-1）	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	B	B	B	B
11	町職員住宅（11-2）	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	不要	不要	C	C	C	C
12	町職員住宅（13-1）	木造	未実施	未実施	A	A	A	A
13	町職員住宅（H3､3-1・3-2）	木造	不要	不要	B	B	B	B
14	町職員住宅（H4､4-1・4-2）	木造	不要	不要	B	B	B	B
15	町職員住宅（赤石）	木造	未実施	未実施	A	A	A	A
16	町職員住宅（番号 14-1）	木造	未実施	未実施	A	A	A	A
17	町職員住宅（番号 17-1）	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	未実施	未実施	A	A	A	A
18	町職員住宅（番号 45-2・45-3）	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	A	A	A	A
19	町職員住宅（番号 46-1・46-2）	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	A	A	A	A
20	町職員住宅（番号 50-1-1、50-1-2）	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	A	A	A	A
21	職員住宅（旧教員住宅）（棟番号 497-2）	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	不要	不要	-	-	-	-
22	職員住宅（旧奥尻中学校教員住宅）（棟番号 29-1・Ｓ52）	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	B	B	B	B
23	職員住宅（旧奥尻中学校教員住宅）（棟番号 29-2・S53）	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	B	B	B	B
24	職員住宅（旧奥尻中学校教員住宅）（棟番号 29-3・S53）	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	B	B	B	B
25	職員住宅（旧青苗中学校教員住宅）（棟番号 10-1、10-2・S55）	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	B	B	B	B
26	職員住宅（棟番号 12-1）	木造	不要	不要	-	-	-	-
27	職員住宅（棟番号 274-51）	木造	不要	不要	-	-	-	-
28	青苗 411-17　住宅	木造	不要	不要	-	-	-	-
29	奥尻 488-1　住宅	木造	不要	不要	-	-	-	-
30	旧郵政公宅（棟番号郵政 101、郵政 201）	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	-	-	-	-

（２）再取得･長寿命化コストの試算

No.	施　設　名	取得年度	耐用年数	更新時期	再取得費用（千円）	長寿命化費用（千円）
1	奥尻町総合庁舎	2023	50	2073	1,088,492	680,308
2	役場分庁舎（奥尻町社会福祉協議会）	1996	50	2046	75,316	47,073
3	役場分庁舎倉庫	1996	24	2020	6,400	4,000
4	町職員住宅（6-1）	1985	22	2007	36,888	23,055
5	町職員住宅（6-2）	1975	22	1997	17,676	11,048
6	町職員住宅（8-1）	1976	38	2014	24,180	15,113
7	町職員住宅（9-1・11-1）	1973	38	2011	54,432	34,020
8	町職員住宅（9-1・11-3）	1961	47	2008	21,228	13,268
9	町職員住宅（9-2・9-3）	1961	47	2008	21,228	13,268
10	町職員住宅（11-1）	1975	38	2013	27,252	17,033
11	町職員住宅（11-2）	1983	38	2021	20,112	12,570
12	町職員住宅（13-1）	1970	22	1992	35,952	22,470
13	町職員住宅（H3､3-1・3-2）	1991	22	2013	55,296	34,560
14	町職員住宅（H4､4-1・4-2）	1992	22	2014	55,296	34,560
15	町職員住宅（赤石）	1970	22	1992	26,444	16,528
16	町職員住宅（番号 14-1）	1961	22	1983	59,200	37,000
17	町職員住宅（番号 17-1）	1975	47	2022	70,376	43,985
18	町職員住宅（番号 45-2・45-3）	1970	38	2008	39,760	24,850
19	町職員住宅（番号 46-1・46-2）	1971	38	2009	39,760	24,850
20	町職員住宅（番号 50-1-1、50-1-2）	1975	38	2013	53,280	33,300
21	職員住宅（旧教員住宅）（棟番号 497-2）	1975	38	2013	28,400	17,750
22	職員住宅（旧奥尻中学校教員住宅）（棟番号 29-1・Ｓ52）	1977	38	2015	24,000	15,000
23	職員住宅（旧奥尻中学校教員住宅）（棟番号 29-2・S53）	1978	38	2016	24,400	15,250
24	職員住宅（旧奥尻中学校教員住宅）（棟番号 29-3・S53）	1978	38	2016	28,400	17,750
25	職員住宅（旧青苗中学校教員住宅）（棟番号 10-1、10-2・S55）	1980	38	2018	48,400	30,250
26	職員住宅（棟番号 12-1）	2024	22	2046	28,484	17,803
27	職員住宅（棟番号 274-51）	2025	22	2047	63,744	39,840
28	青苗 411-17　住宅	2024	22	2046	31,696	19,810
29	奥尻 488-1　住宅	2024	22	2046	49,164	30,728
30	旧郵政公宅（棟番号郵政 101、郵政 201）	2023	50	2073	63,144	39,465

（３）施設の具体的な方向性・対策

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th rowspan="2">施設名</th><th rowspan="2">施設の方向性</th><th colspan="10">年度</th><th rowspan="2">施設管理等に関する考え方</th></tr>
<tr><th>2026</th><th>2027</th><th>2028</th><th>2029</th><th>2030</th><th>2031</th><th>2032</th><th>2033</th><th>2034</th><th>2035</th></tr>
<tr><td>1</td><td>奥尻町総合庁舎</td><td>長寿命化</td><td colspan="10">維持</td><td>施設管理を維持し、長寿命化を図る。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>役場分庁舎(奥尻町社会福祉協議会)</td><td>長寿命化</td><td colspan="10">維持</td><td>長寿命化を計画しているため改修等は予定していない。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>奥尻町分庁舎倉庫</td><td>長寿命化</td><td colspan="10">維持</td><td>長寿命化を計画しているため改修等は予定していない。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>町職員住宅（6-1）</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>入居者が継続しているため、引き続き維持する。</td></tr>
<tr><td>5</td><td>町職員住宅（6-2）</td><td>廃止</td><td colspan="10">維持</td><td>入居者が継続しているため、引き続き維持する。</td></tr>
<tr><td>6</td><td>町職員住宅（8-1）</td><td>廃止</td><td colspan="10">維持</td><td>入居者が継続しているため、引き続き維持する。</td></tr>
<tr><td>7</td><td>町職員住宅
（9-1・11-1）</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>入居者が継続しているため、引き続き維持する。</td></tr>
<tr><td>8</td><td>町職員住宅
（9-1・11-3）</td><td>廃止</td><td colspan="2">維持</td><td colspan="8">取り壊し予定</td><td>廃止としており取り壊しを計画。</td></tr>
<tr><td>9</td><td>町職員住宅
（9-2・9-3）</td><td>廃止</td><td colspan="10">維持</td><td>現在入居舎がいるが、退去した段階で取り壊しの計画を立てる。</td></tr>
<tr><td>10</td><td>町職員住宅（11-1）</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>入居者が継続しているため、引き続き維持する。</td></tr>
<tr><td>11</td><td>町職員住宅（11-2）</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>入居者が継続しているため、引き続き維持する。</td></tr>
<tr><td>12</td><td>町職員住宅（13-1）</td><td>廃止</td><td colspan="5">維持</td><td colspan="5">取り壊し予定</td><td>廃止としており取り壊しを計画。</td></tr>
<tr><td>13</td><td>町職員住宅
（H3、3-1・3-2）</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>入居者が継続しているため、引き続き維持する。</td></tr>
<tr><td>14</td><td>町職員住宅
（H4、4-1・4-2）</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>入居者が継続しているため、引き続き維持する。</td></tr>
<tr><td>15</td><td>町職員住宅（赤石）</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>現在入居舎がいるが、退去した段階で取り壊しの計画を立てる。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th rowspan="2">施設名</th><th rowspan="2">施設の方向性</th><th colspan="10">年度</th><th rowspan="2">施設管理等に関する考え方</th></tr>
<tr><th>2026</th><th>2027</th><th>2028</th><th>2029</th><th>2030</th><th>2031</th><th>2032</th><th>2033</th><th>2034</th><th>2035</th></tr>
<tr><td>16</td><td>町職員住宅
（番号 14-1）</td><td>廃止</td><td colspan="2">維持</td><td colspan="8">取り壊し予定</td><td>廃止としており入居予定がないため取り壊しを計画。</td></tr>
<tr><td>17</td><td>町職員住宅
（番号 17-1）</td><td>廃止</td><td colspan="4">維持</td><td colspan="6">取り壊し予定</td><td>廃止としており取り壊しを計画。</td></tr>
<tr><td>18</td><td>町職員住宅
（番号 45-2・45-3）</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>現在入居者がいるが（森林管理署）、退去した段階で取り壊しの計画を立てる。</td></tr>
<tr><td>19</td><td>町職員住宅
（番号 46-1・46-2）</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>現在入居舎がいるが、退去した段階で取り壊しの計画を立てる。</td></tr>
<tr><td>20</td><td>町職員住宅（番号 50-1-1、50-1-2）</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>現在入居舎がいるが、退去した段階で取り壊しの計画を立てる。</td></tr>
<tr><td>21</td><td>職員住宅（旧教員住宅）（棟番号 497-2）</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>入居者が継続しているため、引き続き維持する。</td></tr>
<tr><td>22</td><td>職員住宅（旧奥尻中学校教員住宅）（棟番号 29-1・Ｓ52）</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>入居者が継続しているため、引き続き維持する。</td></tr>
<tr><td>23</td><td>職員住宅（旧奥尻中学校教員住宅）（棟番号 29-2・S53）</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>入居者が継続しているため、引き続き維持する。</td></tr>
<tr><td>24</td><td>職員住宅（旧奥尻中学校教員住宅）（棟番号 29-3・S53）</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>入居者が継続しているため、引き続き維持する。</td></tr>
<tr><td>25</td><td>職員住宅（旧青苗中学校教員住宅）（棟番号 10-1、10-2・S55）</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>入居者が継続しているため、引き続き維持する。</td></tr>
<tr><td>26</td><td>職員住宅
（棟番号 12-1）</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>職員住宅として活用のため長期的に維持管理。</td></tr>
<tr><td>27</td><td>職員住宅
（棟番号 274-51）</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>職員住宅として活用のため長期的に維持管理。</td></tr>
<tr><td>28</td><td>青苗 411-17　住宅</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>寄附採納で普通財産としているが職員の入居予定がないため、維持することとする</td></tr>
<tr><td>29</td><td>奥尻 488-1　住宅</td><td>取り壊し</td><td colspan="10">維持</td><td>廃止としており取り壊しを計画。</td></tr>
<tr><td>30</td><td>旧郵政公宅（棟番号郵政 101、郵政 201）</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>入居者が継続しているため、引き続き維持する。</td></tr>
</table>

4．子育て･福祉支援施設の方針

（1）施設別状況

No.	施　設　名	施設構造	耐震		劣化状況評価			
			診断	補強	躯体	屋根	外壁	内装
31	保健福祉センター	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	不要	不要	A	A	A	A
32	奥尻町健康づくりセンター「いろは」	木造	不要	不要	A	A	A	A

（2）再取得･長寿命化コストの試算

No.	施　設　名	取得年度	耐用年数	更新時期	再取得費用（千円）	長寿命化費用（千円）
31	保健福祉センター	2000	50	2050	120,252	61,948
32	奥尻町健康づくりセンター「いろは」	1993	24	2017	85,536	64,800

（3）施設の具体的な方向性･対策

No.	施設名	施設の方向性	年度										施設管理等に関する考え方
			2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	
31	保健福祉センター	長寿命化	長寿命化										施設管理を維持し、長寿命化を図る。
32	奥尻町健康づくりセンター「いろは」	維持	維持										1993 年に取得し、2017 年に更新時期を迎えいるが、修繕を重ねているため維持管理を図ります。

5．産業関連施設の方針

（1）施設別状況

No.	施　設　名	施設構造	耐震		劣化状況評価			
			診断	補強	躯体	屋根	外壁	内装
33	奥尻町し尿処理センター投入棟	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	未実施	未実施	-	-	-	-
34	し尿処理センター管理棟	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	未実施	未実施	-	-	-	-
35	奥尻町一般廃棄物最終処分場	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	不要	不要	A	A	A	A
36	一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設	鉄骨造	不要	不要	A	A	A	A
37	新奥尻町一般廃棄物最終処分場	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	不要	不要	A	A	A	A
38	新一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	不要	不要	A	A	A	A
39	奥尻町球浦行革燃焼炉１号炉	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	不要	不要	-	-	-	-
40	奥尻町球浦行革燃焼炉２号炉	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	不要	不要	-	-	-	-
41	奥尻町じん芥処理場	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	未実施	未実施	-	-	-	-
42	奥尻町環境センター　焼却施設	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	不要	不要	D	D	B	B
43	奥尻町共同種苗施設作業場	木造	不要	不要	B	B	B	B
44	青苗魚菜市場	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	未実施	未実施	B	B	B	B
45	野菜等集出荷貯蔵庫	鉄骨造	未実施	未実施	B	B	B	B
46	家畜避難舎	軽量鉄骨造	不要	不要	B	B	B	B
47	奥尻町畜養施設	鉄骨造	未実施	未実施	B	B	B	B
48	牧場用機械格納庫	鉄骨造	不要	不要	B	B	B	B
49	奥尻町種雄牛集管理施設	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	B	B	B	B
50	奥尻町種雄牛集管理施設住宅	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	B	B	B	B
51	奥尻町集落センター	鉄骨造	不要	不要	B	B	B	B
52	ファミリーパーク管理棟	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	不要	不要	B	B	B	B
53	神威脇生活改善センター	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	B	D	B	B
54	奥尻町あわび種苗育成センター	鉄骨造	不要	不要	B	B	C	B
55	奥尻養殖漁業支援センター	木造	不要	不要	B	B	C	C
56	奥尻地区水産物流通荷さばき施設	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	不要	不要	B	B	B	B
57	奥尻地区漁獲物鮮度保持施設	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	不要	不要	B	B	B	B
58	奥尻町製氷貯氷・冷凍冷蔵施設	鉄骨ｺﾝｸﾘｰﾄ	不要	不要	B	C	C	C
59	神威脇温泉保養所	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	未実施	未実施	D	D	D	D
60	奥尻港旅客上屋（旅客ターミナル）	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	不要	不要	B	C	B	B
61	灯油備蓄施設	鉄骨造	不要	不要	B	B	B	B
62	奥尻町営自動車整備工場１	鉄骨ｺﾝｸﾘｰﾄ	未実施	未実施	C	C	C	-
63	奥尻町営自動車整備工場２	鉄骨ｺﾝｸﾘｰﾄ	不要	不要	B	B	B	-
64	板金塗装作業場	-	不要	不要	-	-	-	-
65	過疎バス車庫	鉄骨ｺﾝｸﾘｰﾄ	未実施	未実施	B	B	B	-
66	町有バス車庫	鉄骨ｺﾝｸﾘｰﾄ	不要	不要	A	A	A	-
67	バスタイヤ収納庫	木造	不要	不要	B	B	B	-
68	バス待合室（野名前）	木造	不要	不要	-	-	-	-
69	バス待合室（稲穂ふれあい研修センター）	木造	不要	不要	-	-	-	-
70	バス待合室（稲穂）	木造	不要	不要	-	-	-	-
71	バス待合室（勘太浜）	木造	不要	不要	-	-	-	-
72	バス待合室（宮津）	木造	不要	不要	-	-	-	-
73	バス待合室（奥尻小）	木造	不要	不要	-	-	-	-

No.	施　設　名	施設構造	耐震		劣化状況評価			
			診断	補強	躯体	屋根	外壁	内装
74	バス待合室（東風泊）	木造	不要	不要	-	-	-	-
75	バス待合室（球浦２）	木造	不要	不要	-	-	-	-
76	バス待合室（球浦１）	木造	不要	不要	-	-	-	-
77	バス待合室（十字街２）	木造	不要	不要	-	-	-	-
78	バス待合室（病院前）	木造	不要	不要	-	-	-	-
79	バス待合室（谷地第 1）	木造	不要	不要	-	-	-	-
80	バス待合室（武士川）	木造	不要	不要	-	-	-	-
81	バス待合室（恩顧浜第 1）	木造	不要	不要	-	-	-	-
82	バス待合室（松江）	木造	不要	不要	-	-	-	-
83	バス待合室（初松前）	木造	不要	不要	-	-	-	-
84	バス待合室（富里）	木造	不要	不要	-	-	-	-
85	バス待合室（青苗小）	木造	不要	不要	-	-	-	-
86	バス待合室（青苗郵便局）	木造	不要	不要	-	-	-	-
87	バス待合室（望洋台）	木造	不要	不要	-	-	-	-
88	バス待合室（研修センター）	木造	不要	不要	-	-	-	-
89	バス待合室（山の手）	木造	不要	不要	-	-	-	-
90	バス待合室（米岡新生団地）	木造	不要	不要	-	-	-	-
91	バス待合室（神威脇）	木造	不要	不要	-	-	-	-

（２）再取得･長寿命化コストの試算

No.	施　設　名	取得年度	耐用年数	更新時期	再取得費用（千円）	長寿命化費用（千円）
33	奥尻町し尿処理センター投入棟	1978	38	2016	2,320,000	1,450,000
34	し尿処理センター管理棟	1978	38	2016	30,800	19,250
35	奥尻町一般廃棄物最終処分場	2007	38	2045	1,433,600	896,000
36	一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設	2007	31	2038	106,000	66,250
37	新奥尻町一般廃棄物最終処分場	2023	38	2061	1,251,200	782,000
38	新一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設	2023	38	2061	92,000	57,500
39	奥尻町球浦行革燃焼炉１号炉	1992	38	2030	25,600	16,000
40	奥尻町球浦行革燃焼炉２号炉	1992	38	2030	25,600	16,000
41	奥尻町じん芥処理場	1975	38	2013	549,200	343,250
42	奥尻町環境センター　焼却施設	2003	38	2041	1,347,856	842,410
43	奥尻町共同種苗施設作業場	1991	15	2006	24,624	15,390
44	青苗魚菜市場	1979	50	2029	224,572	140,358
45	野菜等集出荷貯蔵庫	1979	31	2010	100,520	62,825
46	家畜避難舎	1983	25	2008	31,320	19,575
47	奥尻町畜養施設	1980	31	2011	51,000	31,875
48	牧場用機械格納庫	1989	31	2020	50,400	31,500
49	奥尻町種雄牛集管理施設	1980	34	2014	98,800	61,750
50	奥尻町種雄牛集管理施設住宅	1980	38	2018	24,000	15,000

No.	施　設　名	取得年度	耐用年数	更新時期	再取得費用（千円）	長寿命化費用（千円）
51	奥尻町集落センター	1994	38	2032	30,672	19,170
52	ファミリーパーク管理棟	1983	41	2024	16,092	10,058
53	神威脇生活改善センター	1976	38	2014	76,872	48,045
54	奥尻町あわび種苗育成センター	1999	38	2037	1,055,000	659,375
55	奥尻養殖漁業支援センター	1993	22	2015	26,500	16,563
56	奥尻地区水産物流通荷さばき施設	2011	38	2049	120,000	75,000
57	奥尻地区漁獲物鮮度保持施設	2013	38	2051	282,400	176,500
58	奥尻町製氷貯氷・冷凍冷蔵施設	1995	38	2033	611,060	381,913
59	神威脇温泉保養所	1978	47	2025	275,100	171,938
60	奥尻港旅客上屋（旅客ターミナル）	1994	50	2044	295,560	184,725
61	灯油備蓄施設	2011	31	2042	800,000	500,000
62	奥尻町営自動車整備工場１	1973	31	2004	264,492	165,308
63	奥尻町営自動車整備工場２	1984	31	2015	31,752	19,845
64	板金塗装作業場	1984	15	1999	16,400	10,250
65	過疎バス車庫	1973	31	2004	152,940	95,588
66	町有バス車庫	1983	31	2014	78,600	49,125
67	バスタイヤ収納庫	1989	17	2006	9,360	5,850
68	バス待合室（野名前）	1999	25	2024	2,520	1,575
69	バス待合室（稲穂ふれあい研修センター）	2000	25	2025	2,520	1,575
70	バス待合室（稲穂）	2003	25	2028	2,520	1,575
71	バス待合室（勘太浜）	1980	25	2005	2,916	1,823
72	バス待合室（宮津）	1993	25	2018	2,980	1,863
73	バス待合室（奥尻小）	2013	25	2038	2,520	1,575
74	バス待合室（東風泊）	1984	25	2009	2,916	1,823
75	バス待合室（球浦２）	2012	25	2037	2,520	1,575
76	バス待合室（球浦１）	2010	25	2035	2,520	1,575
77	バス待合室（十字街２）	2020	25	2045	-	-
78	バス待合室（病院前）	1983	25	2008	2,916	1,823
79	バス待合室（谷地第 1）	2024	25	2049	2,700	1,688
80	バス待合室（武士川）	-	-	-	4,840	3,025
81	バス待合室（恩顧浜第 1）	1980	25	2005	2,880	1,800
82	バス待合室（松江）	1982	25	2007	2,916	1,823
83	バス待合室（初松前）	1997	25	2022	2,160	1,350
84	バス待合室（富里）	1979	25	2004	2,916	1,823
85	バス待合室（青苗小）	2003	25	2028	2,548	1,593
86	バス待合室（青苗郵便局）	2001	25	2026	3,456	2,160
87	バス待合室（望洋台）	1996	25	2021	2,160	1,350
88	バス待合室（研修センター）	2021	25	2046	-	-

No.	施　設　名	取得年度	耐用年数	更新時期	再取得費用（千円）	長寿命化費用（千円）
89	バス待合室（山の手）	1995	25	2020	2,160	1,350
90	バス待合室（米岡新生団地）	1994	25	2019	5,304	3,315
91	バス待合室（神威脇）	1995	25	2020	2,160	1,350

（３）施設の具体的な方向性・対策

No.	施設名	施設の方向性	年度										施設管理等に関する考え方
			2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	
33	奥尻町し尿処理センター投入棟	取り壊し	維持										早急に解体に向けた検討。
34	し尿処理センター管理棟	取り壊し	維持										早急に解体に向けた検討。
35	奥尻町一般廃棄物最終処分場	廃止予定	維持	廃止予定									2027 年度廃止予定
36	一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設	廃止予定	維持	廃止予定									2027 年度廃止予定。
37	新奥尻町一般廃棄物最終処分場	維持	維持										2037 年度終了予定。
38	新一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設	維持	維持										2037 年度終了予定。
39	奥尻町球浦行革燃焼炉１号炉	取り壊し	維持										早急に解体に向けた検討。
40	奥尻町球浦行革燃焼炉２号炉	取り壊し	維持										早急に解体に向けた検討。
41	奥尻町じん芥処理場	取り壊し	維持										早急に解体に向けた検討。
42	奥尻町環境センター焼却施設	長寿命化	維持		基幹改良		維持						延命化により基幹改良。
43	奥尻町共同種苗施設作業場	維持	軽微であれば修繕										正しく評価するには家屋調査が必須と考える。軽微な補修があった場合修繕費で対応。
44	青苗魚菜市場	維持	軽微であれば修繕										正しく評価するには家屋調査が必須と考える。軽微な補修があった場合修繕費で対応。
45	野菜等集出荷貯蔵庫	維持	軽微であれば修繕										正しく評価するには家屋調査が必須と考える。軽微な補修があった場合修繕費で対応。
46	家畜避難舎	維持	軽微であれば修繕										正しく評価するには家屋調査が必須と考える。軽微な補修があった場合修繕費で対応。

No.	施設名	施設の方向性	年度										施設管理等に関する考え方
			2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	
47	奥尻町畜養施設	維持	軽微であれば修繕										正しく評価するには家屋調査が必須と考える。軽微な補修があった場合修繕費で対応。
48	牧場用機械格納庫	維持	軽微であれば修繕										正しく評価するには家屋調査が必須と考える。軽微な補修があった場合修繕費で対応。
49	奥尻町種雄牛集管理施設	維持	軽微であれば修繕										正しく評価するには家屋調査が必須と考える。軽微な補修があった場合修繕費で対応。
50	奥尻町種雄牛集管理施設住宅	維持	軽微であれば修繕										正しく評価するには家屋調査が必須と考える。軽微な補修があった場合修繕費で対応。
51	奥尻町集落センター	維持	軽微であれば修繕										正しく評価するには家屋調査が必須と考える。軽微な補修があった場合修繕費で対応。
52	ファミリーパーク管理棟	維持	軽微であれば修繕										正しく評価するには家屋調査が必須と考える。軽微な補修があった場合修繕費で対応。
53	神威脇生活改善センター	維持	屋根補修	維持									施設管理を維持していく。
54	奥尻町あわび種苗育成センター	維持	維持										施設管理を維持していく。
55	奥尻養殖漁業支援センター	維持	維持										施設管理を維持していく。
56	奥尻地区水産物流通荷さばき施設	維持	維持										施設管理を維持していく。
57	奥尻地区漁獲物鮮度保持施設	維持	維持										施設管理を維持していく。
58	奥尻町製氷貯氷・冷凍冷蔵施設	維持	維持										施設管理を維持していく。
59	神威脇温泉保養所	維持	維持・軽度な補修										外壁劣化のため危険。躯体の建替が必要。
60	奥尻港旅客上屋（旅客ターミナル）	維持	維持										将来に向けて建替を検討していく。
61	灯油備蓄施設	長寿命化	タンク外面塗装・開放検査			維持・軽度な補修							約 10 年周期でのオーバーホール・大規模な改修が必要。
62	奥尻町営自動車整備工場１	建替え予定	維持										施設の建替えを検討していく。
63	奥尻町営自動車整備工場２	建替え予定	維持										施設の建替えを検討していく。

No.	施設名	施設の方向性	年度										施設管理等に関する考え方
			2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	
64	板金塗装作業場	維持	維持										施設管理を維持していく。
65	過疎バス車庫	建替え予定	維持			新築・移転（予定）		維持					R11～R12、新規移転予定。既存施設解体（補助対象）
66	町有バス車庫	維持	維持			新築・移転（予定）		維持					R11～R12、新規移転予定。既存施設解体（補助対象）
67	バスタイヤ収納庫	建替え予定	維持			新築・移転（予定）		維持					R11～R12、新規移転予定。既存施設解体（補助対象）
68	バス待合室（野名前）	維持	維持										施設管理を維持していく。
69	バス待合室（稲穂ふれあい研修センター）	維持	維持										施設管理を維持していく。
70	バス待合室（稲穂）	維持	維持										施設管理を維持していく。
71	バス待合室（勘太浜）	維持	維持										施設管理を維持していく。
72	バス待合室（宮津）	維持	維持										施設管理を維持していく。
73	バス待合室（奥尻小）	維持	維持										施設管理を維持していく。
74	バス待合室（東風泊）	維持	維持										施設管理を維持していく。
75	バス待合室（球浦２）	維持	維持										施設管理を維持していく。
76	バス待合室（球浦１）	維持	維持										施設管理を維持していく。
77	バス待合室（十字街２）	維持	維持										施設管理を維持していく。
78	バス待合室（病院前）	建替え予定	維持										施設の建替えを検討していく。
79	バス待合室（谷地第 1）	維持	維持										施設管理を維持していく。
80	バス待合室（武士川）	廃止予定	維持										将来的な廃止を検討していく。
81	バス待合室（恩顧浜第 1）	維持	維持										施設管理を維持していく。
82	バス待合室（松江）	維持	維持										施設管理を維持していく。
83	バス待合室（初松前）	維持	維持										施設管理を維持していく。
84	バス待合室（富里）	維持	維持										施設管理を維持していく。
85	バス待合室（青苗小）	維持	維持										施設管理を維持していく。

No.	施設名	施設の方向性	年度										施設管理等に関する考え方
			2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	
86	バス待合室（青苗郵便局）	維持	維持										施設管理を維持していく。
87	バス待合室（望洋台）	維持	維持										施設管理を維持していく。
88	バス待合室（研修センター）	維持	維持										施設管理を維持していく。
89	バス待合室（山の手）	維持	維持										施設管理を維持していく。
90	バス待合室（米岡新生団地）	建替え予定	維持										施設の建替えを検討していく。
91	バス待合室（神威脇）	維持	維持										施設管理を維持していく。

6. コミュニティ・社会教育施設の方針

（1）施設別状況

No.	施　設　名	施設構造	耐震		劣化状況評価			
			診断	補強	躯体	屋根	外壁	内装
92	新生ホール・青苗	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	不要	不要	A	A	A	A
93	パークゴルフ場クラブハウス	木造	不要	不要	A	A	A	A
94	奥尻町海洋研修センター	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	不要	不要	A	B	A	A
95	奥尻島津波館	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	不要	不要	A	B	B	B
96	奥尻町町民センター	鉄骨造	未実施	未実施	B	A	A	A
97	弓道場	木造	不要	不要	A	A	A	A
98	奥尻町稲穂ふれあい研修センター	木造	不要	不要	A	D	C	C
99	奥尻町稲穂ふれあい研修センター体育館	鉄骨ｺﾝｸﾘｰﾄ	未実施	未実施	B	C	C	C
100	スキーロッヂ	木造	未実施	未実施	B	B	B	B
101	奥尻町総合研修センター	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	未実施	未実施	B	B	B	B

（2）再取得・長寿命化コストの試算

No.	施　設　名	取得年度	耐用年数	更新時期	再取得費用（千円）	長寿命化費用（千円）
92	新生ホール・青苗	1993	47	2040	326,652	204,158
93	パークゴルフ場クラブハウス	2010	24	2034	14,400	9,000
94	奥尻町海洋研修センター	1996	50	2046	960,800	600,500
95	奥尻島津波館	1999	50	2049	470,000	293,750
96	奥尻町町民センター	1975	38	2013	740,832	463,020
97	弓道場	1988	22	2010	64,400	40,250
98	奥尻町稲穂ふれあい研修センター	1993	15	2008	234,000	146,250
99	奥尻町稲穂ふれあい研修センター体育館	1975	34	2009	187,200	117,000
100	スキーロッヂ	1975	17	1992	24,800	15,500
101	奥尻町総合研修センター	1969	47	2016	303,128	189,455

（３）施設の具体的な方向性・対策

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th rowspan="2">施設名</th><th rowspan="2">施設の方向性</th><th colspan="10">年度</th><th rowspan="2">施設管理等に関する考え方</th></tr>
<tr><th>2026</th><th>2027</th><th>2028</th><th>2029</th><th>2030</th><th>2031</th><th>2032</th><th>2033</th><th>2034</th><th>2035</th></tr>
<tr><td>92</td><td>新生ホール・青苗</td><td>廃止</td><td colspan="10">維持</td><td>将来的な廃止を検討していく。</td></tr>
<tr><td>93</td><td>パークゴルフ場クラブハウス</td><td>維持</td><td colspan="10">維持・軽度な補修</td><td>利用者減の為、転用も考え維持が必要。</td></tr>
<tr><td>94</td><td>奥尻町海洋研修センター</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>施設管理を維持していく。</td></tr>
<tr><td>95</td><td>奥尻島津波館</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>施設管理を維持していく。</td></tr>
<tr><td>96</td><td>奥尻町町民センター</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>施設管理を維持していく。</td></tr>
<tr><td>97</td><td>弓道場</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>施設管理を維持していく。</td></tr>
<tr><td>98</td><td>奥尻町稲穂ふれあい研修センター</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>将来的に廃止を検討。</td></tr>
<tr><td>99</td><td>奥尻町稲穂ふれあい研修センター体育館</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>将来的に廃止を検討。</td></tr>
<tr><td>100</td><td>スキーロッヂ</td><td>建替え</td><td colspan="4">維持</td><td>建替え</td><td colspan="4">維持</td><td>2030 年度に施設の建替えを行う予定。</td></tr>
<tr><td>101</td><td>奥尻町総合研修センター</td><td>維持</td><td>和室修繕予定</td><td colspan="9">維持</td><td>大規模修繕が実施出来ないため予算の範囲内で長期的に行う。</td></tr>
</table>

7．自治振興会館・集会所の方針

（1）施設別状況

No.	施　設　名	施設構造	耐震		劣化状況評価			
			診断	補強	躯体	屋根	外壁	内装
102	赤石自治振興会館	木造	未実施	未実施	A	B	A	A
103	球浦自治振興会館	木造	未実施	未実施	A	A	A	B
104	勘太浜自治振興会館	木造	不要	不要	B	B	B	B
105	東風泊自治振興会館	木造	不要	不要	A	A	A	B
106	米岡自治振興会館	木造	不要	不要	B	B	B	B
107	初松前自治振興会館	木造	不要	不要	A	A	A	A
108	稲穂夕なぎ会館	木造	不要	不要	A	A	A	A
109	薬師集会所	木造	不要	不要	A	A	A	A

（2）再取得・長寿命化コストの試算

No.	施　設　名	取得年度	耐用年数	更新時期	再取得費用（千円）	長寿命化費用（千円）
102	赤石自治振興会館	1979	22	2001	83,472	52,170
103	球浦自治振興会館	1980	22	2002	94,236	58,898
104	勘太浜自治振興会館	1986	22	2008	73,512	45,945
105	東風泊自治振興会館	1991	22	2013	102,384	63,990
106	米岡自治振興会館	1992	22	2014	75,652	47,283
107	初松前自治振興会館	1997	22	2019	112,212	70,133
108	稲穂夕なぎ会館	1997	22	2019	118,368	73,980
109	薬師集会所	2006	22	2028	33,372	20,858

（３）施設の具体的な方向性・対策

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th rowspan="2">施設名</th><th rowspan="2">施設の方向性</th><th colspan="10">年度</th><th rowspan="2">施設管理等に関する考え方</th></tr>
<tr><th>2026</th><th>2027</th><th>2028</th><th>2029</th><th>2030</th><th>2031</th><th>2032</th><th>2033</th><th>2034</th><th>2035</th></tr>
<tr><td>102</td><td>赤石自治振興会館</td><td>廃止予定</td><td colspan="10">維持</td><td>町民センターへ機能集約。</td></tr>
<tr><td>103</td><td>球浦自治振興会館</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>老朽化しているものの、地域的に周辺施設との集約ができないため維持。</td></tr>
<tr><td>104</td><td>勘太浜自治振興会館</td><td>廃止予定</td><td colspan="3">維持</td><td colspan="7">廃止予定</td><td>稲穂夕なぎ会館へ機能集約。</td></tr>
<tr><td>105</td><td>東風泊自治振興会館</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>奥尻小学校及び自衛隊を中心に、利用頻度が高いため維持。</td></tr>
<tr><td>106</td><td>米岡自治振興会館</td><td>廃止予定</td><td colspan="3">維持</td><td colspan="7">廃止予定</td><td>将来的に廃止を検討し、青苗支所に機能集約。</td></tr>
<tr><td>107</td><td>初松前自治振興会館</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>稲穂・野名前・勘太浜地区の集会所機能として維持。</td></tr>
<tr><td>108</td><td>稲穂夕なぎ会館</td><td>維持</td><td colspan="3">維持</td><td colspan="7">廃止予定</td><td>松江・初松前地区の集会所機能として維持。</td></tr>
<tr><td>109</td><td>薬師集会所</td><td>維持</td><td colspan="10">維持</td><td>2006 年度に建設し、新しいため維持。</td></tr>
</table>

8．その他の施設の方針

（1）施設別状況

No.	施　設　名	施設構造	耐震		劣化状況評価			
			診断	補強	躯体	屋根	外壁	内装
110	旧稲穂自治振興会館	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	C	C	C	C
111	旧歴史民族資料館	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	不要	不要	-	-	-	-
112	旧青苗歯科診療所	鉄骨造	未実施	未実施	-	-	-	-
113	旧青苗中学校校舎（棟番号 021）	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	未実施	未実施	B	B	B	B
114	旧青苗中学校体育館（棟番号 025）	鉄骨ｺﾝｸﾘｰﾄ	未実施	未実施	B	B	B	B
115	旧青苗中学校クラブハウス（棟番号 026）	鉄骨ｺﾝｸﾘｰﾄ	未実施	未実施	B	B	B	B
116	旧青苗中学校物置（棟番号 022）	木造	未実施	未実施	B	B	B	B
117	旧うにまるパークセンター	鉄骨造	不要	不要	A	A	A	A
118	旧老人福祉寮	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	A	A	A	A
119	旧奥尻町公衆浴場	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	A	A	A	A
120	霊柩車車庫	木造	不要	不要	A	A	A	A
121	移住者用住宅	木造	不要	不要	-	-	-	-
122	宮津生活館	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	D	D	D	D
123	谷地生活館	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	B	A	B	A
124	富里へき地保健福祉館	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	A	B	A	C
125	町長公宅	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	未実施	未実施	A	D	D	D
126	助役公宅	木造	未実施	未実施	A	B	C	C

（2）再取得･長寿命化コストの試算

No.	施　設　名	取得年度	耐用年数	更新時期	再取得費用（千円）	長寿命化費用（千円）
110	旧稲穂自治振興会館	1978	38	2016	73,483	40,824
111	旧歴史民族資料館	1983	50	2033	108,000	60,000
112	旧青苗歯科診療所	1978	38	2016	63,738	35,410
113	旧青苗中学校校舎（棟番号 021）	1980	47	2027	984,960	547,200
114	旧青苗中学校体育館（棟番号 025）	1981	34	2015	324,000	180,000
115	旧青苗中学校クラブハウス（棟番号 026）	1981	38	2019	43,200	24,000
116	旧青苗中学校物置（棟番号 022）	1980	22	2002	22,320	12,400
117	旧うにまるパークセンター	1992	38	2030	295,841	164,356
118	旧老人福祉寮	1980	38	2018	71,640	39,800
119	旧奥尻町公衆浴場	1972	38	2010	79,751	44,306
120	霊柩車車庫	1985	17	2002	4,644	2,580
121	移住者用住宅	2022	15	2037	5,461	3,034
122	宮津生活館	1973	38	2011	66,165	34,085
123	谷地生活館	1972	38	2010	73,161	37,689
124	富里へき地保健福祉館	1971	38	2009	54,651	28,154

No.	施　設　名	取得年度	耐用年数	更新時期	再取得費用（千円）	長寿命化費用（千円）
125	町長公宅	1975	22	1997	70,000	43,750
126	助役公宅	1971	22	1993	37,200	23,250

（３）施設の具体的な方向性・対策

No.	施設名	施設の方向性	年度										施設管理等に関する考え方
			2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	
110	旧稲穂自治振興会館	廃止	維持										条例廃止の為、今後は建物の活用方法等を検討していく。
111	旧歴史民族資料館	取り壊し	維持		取り壊し								2030 年度に取り壊しの予定。
112	旧青苗歯科診療所	廃止	維持										建物の老朽化が進んでいるため取り壊しを検討していく。
113	旧青苗中学校校舎（棟番号 021）	維持	維持										施設管理を維持していく。
114	旧青苗中学校体育館（棟番号 025）	維持	維持										施設管理を維持していく。
115	旧青苗中学校クラブハウス（棟番号 026）	維持	維持										施設管理を維持していく。
116	旧青苗中学校物置（棟番号 022）	維持	維持										施設管理を維持していく。
117	旧うにまるパークセンター	廃止	維持										条例廃止の為、今後は建物の活用方法等を検討していく。
118	旧老人福祉寮	廃止	維持										将来的な廃止を検討していく。
119	旧奥尻町公衆浴場	廃止	維持										将来的な廃止を検討していく。
120	霊柩車車庫	維持	維持										施設管理を維持していく。
121	移住者用住宅	維持	維持										施設管理を維持していく。
122	宮津生活館	廃止予定	維持										廃止予定ではあるが時期については未定。
123	谷地生活館	廃止予定	維持										廃止予定ではあるが時期については未定。
124	富里へき地保健福祉館	廃止予定	維持										廃止予定ではあるが時期については未定。
125	町長公宅	廃止	維持		取り壊し予定								廃止としており取り壊しを計画。
126	助役公宅	廃止	維持		取り壊し予定								廃止としており取り壊しを計画。

V まとめ

1．10 年後の実現を目指す奥尻町の姿

本計画の推進により、財政の維持・安定化を図りながら、最適な公共施設のサービス利用を図り、第 6 期奥尻町発展計画に掲げるまちづくりの将来像である「島を受け継ぎ、島をつくる　4 つのスタイルの息づく町」を目指します。

●公共施設等マネジメント推進
- 施設所管課との横断的な連携を図り、公共施設等に対して一元管理・連携体制を構築
- 町民ニーズの把握と公共施設の適正配置
- 良質な施設サービス提供の維持

●総合的かつ計画的な管理の実現
- 更新費用の圧縮による歳出の軽減・平準化
- 基金の確保や良質な地方債の活用による財源確保
- 将来的な財政安定化の維持

厳しい財政状況化で、人口減少・少子高齢化が進展する将来を見据えると、税収が減少する一方で、人口構造の変化に伴う社会保障費や扶助費等の増大が見込まれ、ますます財政状況が厳しくなるなか、公共施設等の老朽化は進み、施設の更新需要が高まってきます。

限られた財源のなか、持続可能なまちづくりを実現しつつ、町民ニーズに対応した公共施設利用のサービス提供を維持するため、令和 8（2026）年 3 月に「奥尻町公共施設等総合管理計画」を改訂し、基本方針等を見直しました。

今後、総合管理計画に基づき、各公共施設にかかるコストと利用状況の両面から各施設の課題を抽出したうえで、公共施設の質と量の最適配置や長寿命化等の公共施設マネジメントを推し進めるため、個々の施設の具体的な方向性を示した本計画により、持続可能な街づくりを目指していきます。

また、町有財産のあり方庁内検討会のような各課に対し横串機能を持ち、公共施設等に対して一元管理を行い、全体の調整機能を発揮しつつ、進行管理を行うとともに方針の改定や目標の見直しを行っていきます。

今後、本町では財源が限られる中で、いかに住民サービスの量や質を落とさず、施設の長寿命化や最適配置という大きな課題に取り組んでいきますが、財政が厳しいからこそ、官民連携や知恵や工夫により、公共施設マネジメントを推進し、総合的かつ計画的な施設管理を図っていきます。

２．施設分類ごとの方針

（１）庁舎･町職員住宅等

■現状と課題

役場本庁舎は令和 5（2023）年度に建替えています。現在老朽化が進行している分庁舎や他の公共施設との複合施設化を検討し、多様な機能を一体化しコンパクトな行政運営を目指します。

職員住宅は、かなり老朽化が進んでいる状態となっています。職員住宅については、今後使用が見込めないものについては、取壊しや売却などの財産処分を行った上で、職員数に応じて適正化を図ります。

■取組方針

奥尻町総合庁舎は新しい施設なので大規模な改修は必要ありませんが、修繕費の平準化を図るため、計画的な予防保全を実施します。

職員住宅等は、利用頻度が少ない場合は、廃止や除却を検討します。また、古い施設は特に安全に留意し、定期的に点検を実施し、修繕等を行います。

（２）子育て･福祉支援施設

■現状と課題

奥尻町健康づくりセンター「いろは」は、「げんきっこクラブ」の実施場所として、親子の交流や育児支援の拠点となっています。

保健福祉センターについては、定期的な修繕等により長寿命化を図ります。予防保全の視点を導入します。

■取組方針

適切な時期に修繕を実施することで、コスト削減と施設の長寿命化を図るため、法定点検だけではなく日常の目視点検を行い、チェックシートを用いて施設管理を進めます。

（３）産業関連施設

■現状と課題

産業関連施設については、旧じん芥処理場等、現在共用が終わった施設の取り壊しについて高い優先順位で検討します。町有バス車庫（過疎バス車庫）は地域公共交通計画や利便増進計画に新築移転計画を掲載し補助事業等を活用した施設整備に努めます。奥尻町営自動車整備工場や奥尻旅客上屋（旅客ターミナル）は、職員の安全確保等も含めて建替え、長寿命化を行います。一般廃棄物最終処分場など比較的新しい施設もありますが、全体的に建築後 30 年以上経過している施設が多い状況です。

■取組方針

定期的な点検を実施し、随時修繕を行います。他の公共施設や地域の状況と合わせて施設のあり方を引き続き検討します。

（４）コミュニティ･社会教育施設

■現状と課題

コミュニティ・社会教育施設は、機能重複や老朽化が進んでいることもあり、必要に応じて修繕・改修いたします。

■取組方針

本計画に基づき、計画的に改修等を行い、施設の維持管理に努めます。

遊休施設については、解体や、利活用の検討を進めます。

（５）自治振興会館･集会所

■現状と課題

自治振興会館･集会所は薬師集会所を除きかなり老朽化が進んでいます。その他の施設については、予防保全の観点から点検強化と修繕を実施し、長寿命化に努めます。また、利用ニーズや人口推移を見ながら施設の集約や機能移転を検討します。

■取組方針

予防保全による点検強化、修繕の実施による長寿命化対策を継続します。

人口推移や利用ニーズを見ながら施設の集約化や廃止・更新・除却の検討を行います。

（６）その他

■現状と課題

用途廃止としている旧老人福祉寮・旧奥尻町公衆浴場については、書庫や倉庫として活用しているが、建物の老朽化が進んでいるため維持管理に努めます。

■取組方針

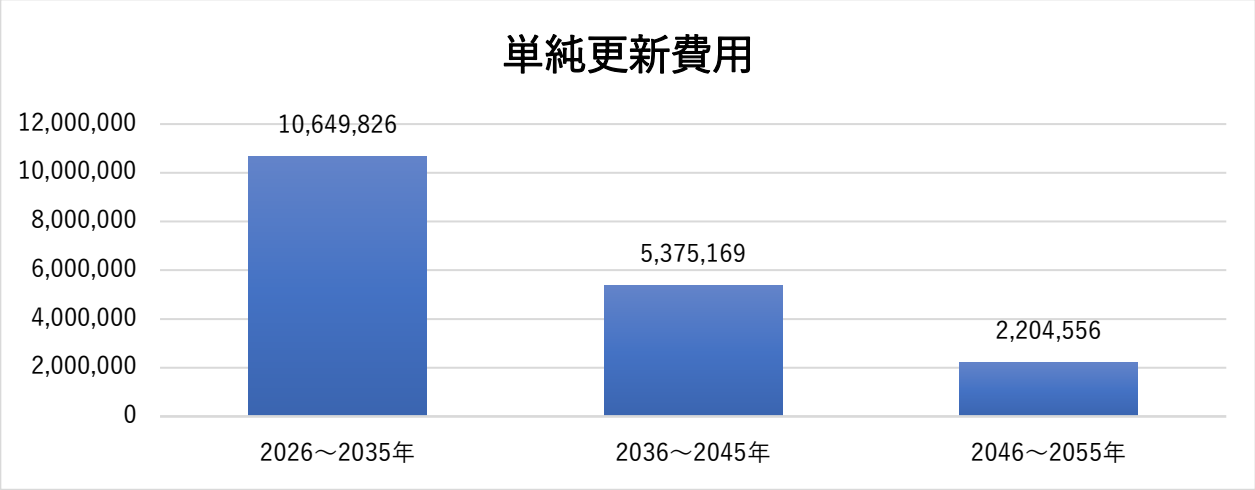
施設の利用状況や住民ニーズにより、必要に応じて修繕を行います。

利用頻度の低い施設や用途廃止になっている施設は、活用方法の検討、解体等の検討を行います。

３．個別施設計画による財政効果

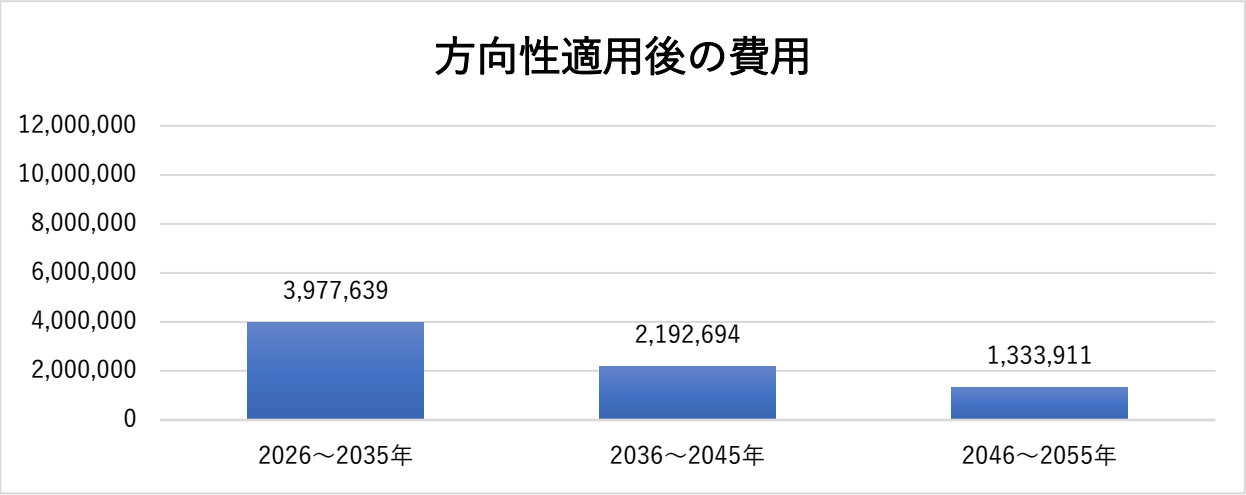
各施設を耐用年数経経過時に単純更新した場合と方向性を反映させた場合を見ると、今後 30 年間の財政効果は以下のとおりで、施設の統廃合や長寿命化により、30 年間で約 107 億円のコスト削減が見込まれます。

将来に向けて、少子高齢化に伴う財源の減少等を考慮すると、更なる施設の統廃合、複合施設化、再配置を検討する必要があります。



【単純更新費用】　（単位：千円）

	2026～2035 年度	2036～2045 年度	2046～2055 年度	合計
庁舎・町職員住宅等	925,560	0	248,404	1,173,964
子育て・福祉支援施設	193,977	0	120,252	314,229
産業関連施設	5,196,744	5,043,056	405,100	10,644,900
コミュニティ・社会教育施設	1,568,760	326,652	1,430,800	3,326,212
自治振興会館・集会所	693,208	0	0	693,208
その他	2,071,577	5,461	0	2,077,038
合計	10,649,826	5,375,169	2,204,556	18,229,551



【方向性を反映させた費用】 （単位：千円）

	2026～2035 年度	2036～2045 年度	2046～2055 年度	合計	削減額
庁舎・町職員住宅等	355,325	0	124,525	479,850	▲694,114
子育て・福祉支援施設	0	0	61,948	61,948	▲252,281
産業関連施設	1,578,502	2,189,660	253,188	4,021,349	▲6,623,551
コミュニティ・社会教育施設	989,775	0	894,250	1,884,025	▲1,442,187
自治振興会館・集会所	287,858	0	0	287,858	▲405,351
その他	766,180	3,034	0	769,214	▲1,307,824
合計	3,977,639	2,192,694	1,333,911	7,504,244	▲10,725,308

※維持、長寿命化の施設は長寿命化単価を採用、建替え、建替え予定の施設は建替え単価を採用、取り壊し、廃止、廃止予定の施設は 0 円で計算

４．本計画の推進体制

（１）推進方針

今後、総合管理計画の方針や本計画における各施設の方向性に基づき、個別施設ごとに具体的な取り組みを行いますが、事務的な整理や整備手法などの検討や具体的な対策の実施にあたっては、対象施設に関連する町民・施設利用者・関係団体等との協議を行い、十分な調整と合意形成を図りながら進めます。

また、長寿命化や複合施設化、予防・維持保全の推進を行う施設については、それぞれ修繕（改修）計画を策定し、実際の事業実施に際しては、財政状況との整合性を図り財政負担の平準化を図ります。

なお、対策（方向性）が「維持」となっている施設においても、建物の残寿命が短いものや社会情勢や町民ニーズの変化により施設の在り方を考慮するものについては、計画改訂時において対策(方向性)を検討します

（２）推進体制

本計画に記載している対策については、各公共施設の所管課を中心として実施します。一方で、公共施設の統廃合や多機能化等、施設の再編などによる町民サービスの向上は、全体の最適化に資するものであることから、公共施設の規模の最適化や多機能化等の取り組みについては、関係管理職員で構成される課長会議にて、基本計画の方向性を検討します。

また、必要に応じて随時関係部署との協議の体制強化を図ります。

奥尻町個別施設計画

令和８年３月改訂

〒043-1498　北海道奥尻郡奥尻町字奥尻 428 番地２
【総務課管財係】
Tel　01397-2-3401
Fax　01397-2-3445